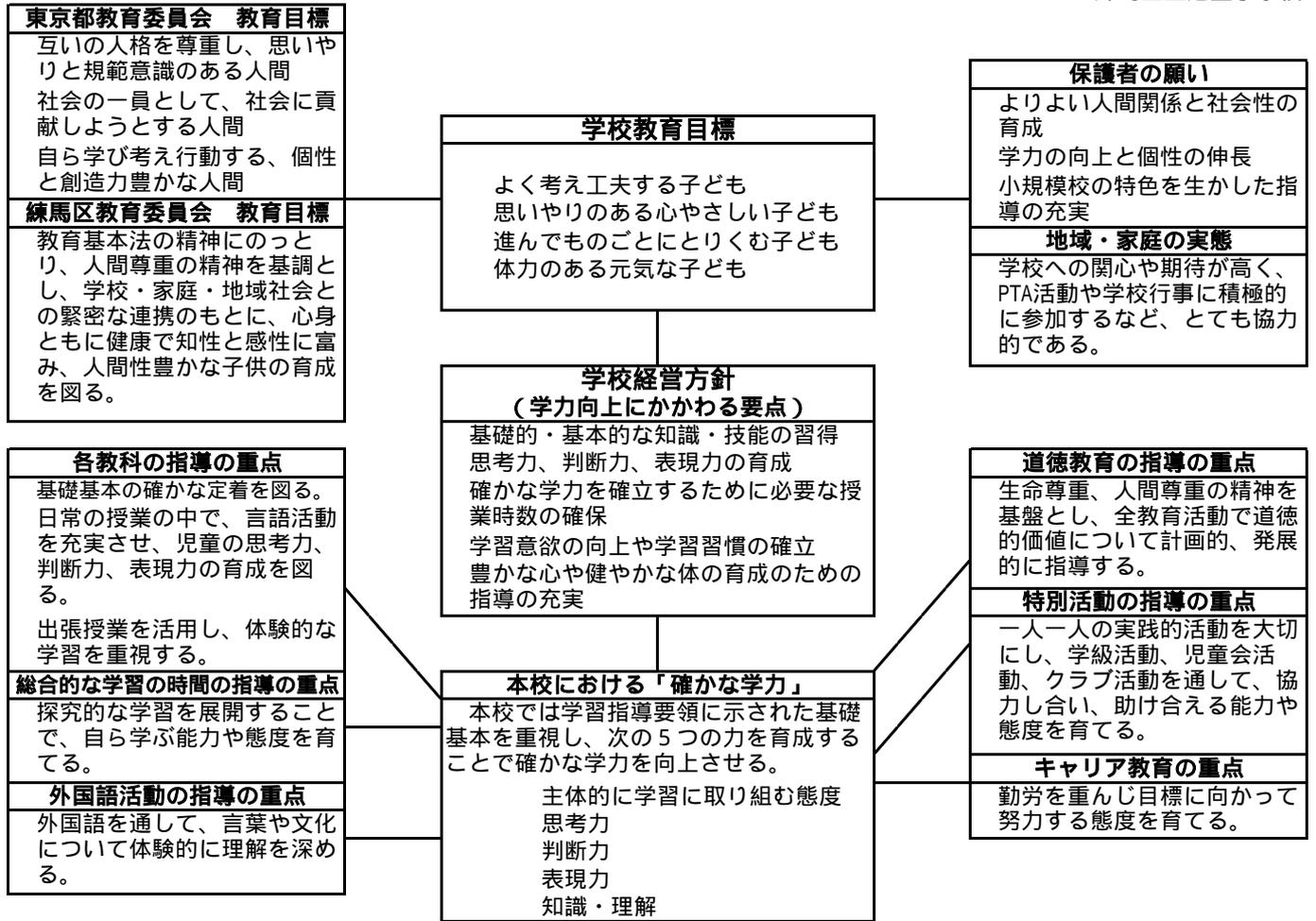


# 平成26年度 学力向上を図るための全体計画

練馬区立旭丘小学校



本校の授業改善に向けた視点				
指導内容・指導方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内における研究や研修の工夫	評価活動の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
<p>年間指導計画に基づいた計画的な指導を行い、児童に確かな学力を付けさせることのできる指導を展開する。</p> <p>算数の授業では、少人数指導を通して、子に応じた指導の工夫・改善に努める。</p> <p>複数年での授業や、特別支援学級との交流学習を行い、児童が豊かな学習経験ができるようにする。</p>	<p>基礎・基本の定着をより一層図るため、算数の授業時数を標準時数よりも多く設定する。</p> <p>様々な教科で体験学習や交流学習を編成することを通して、問題解決的な学習を展開させる。</p> <p>土曜授業の実施により、教育活動を充実するとともに、授業時数を確保し日頃の学習活動を充実させる。</p>	<p>研究主題「基礎基本を身に付けさせ学習意欲を高める指導法の確立」を設定し、教員自らの授業力の向上を図る。</p> <p>小竹小、旭丘中とともに、小中一貫教育について研修し、小中連携や小小連携の活動を充実させる。また、旭丘中で6年生が授業を受ける、乗り入れ授業を実施し、教員・児童相互に9年間の学びの連続性を意識させる。</p>	<p>授業の中で指導と評価の一体化を図り、基礎基本の定着を図る。</p> <p>学力調査結果を分析して課題を把握し、授業改善推進プランに反映し、個々の教員の授業改善に生かす。</p>	<p>学校公開日や道徳授業地区公開講座、保護者会、個人面談などの充実を図り、保護者や地域の方々との相互理解をさらに深める。</p> <p>保護者や学校評議員による学校関係者評価を実施し、その結果分析を行う。また、教員による評価と重ね合わせて、授業改善に努める。</p>

検証方法
<p>学力状況調査及び、単元ごとの到達度テストを活用 発言記録、児童による自己評価による検証 管理職による授業観察</p>